

北九州市立枝光台中学校

**えだみつだい**

校長 戸次 健治

【校 訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を  
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

## 二学期始業式で話した言葉です。

今日から二学期が始まります。今日は私のこの夏の思い出から話をします。

今年は戦後 80 年ということで、テレビなどでは戦争と平和について考える特集が多く組まれていました。そのせいなのか、私はこの夏、90 歳になる母親と小倉にある北九州市平和のまちミュージアムに行ってきました。館内では「戦前の北九州」や「戦争と空襲」等のテーマで展示がされていました。母親と館内を回りながら戦前から小倉には大規模な兵器工場があり、戦車や機関銃などを製造していたこと、また兵器工場があったために昭和 20 年 8 月 9 日の原爆投下の第一目標が小倉であったことを確認しました。また 8 月 8 日の八幡大空襲についての展示では、尾倉の小伊藤山公園付近にあった防空壕に多くの避難者がいたが爆撃で塞がれ、窒息のため多数の犠牲者が出たことなどの説明を見ました。母親は戦争を経験してるせいなのかどの展示にも時間をかけてじっくり見ていました。館を出た後の「戦争は絶対ダメやね」の言葉が私の印象に残っています。

「戦争は絶対にいけない」という言葉や感想は一学期に行った平和学習の後の君たちの感想文の中にも多く出ていました。一学期には広島から被爆体験伝承者の石橋さんを招いて話をさせていただきましたね。話の中で原爆が皿倉山位の高さで炸裂して一瞬にして七千度を超える火球となり直下の温度は三千度を超える熱線となった等の話を聞いたことを思い出しました。私は「戦争は絶対にいけない」ということを改めて確認した夏になりました。

さて、2 学期は文化発表会や各学年行事など、いろいろな行事が予定されています。毎日の生活ではもちろん、行事等ではいろいろな人と出会うことがあるでしょう。そうした時の君たちのハッキリした挨拶を期待します。また、学習の秋でもあります。引き続き勉強もがんばって下さい。そして自分に与えられた仕事、係・委員会・給食・清掃など当たり前のことが当たり前にできるようにがんばっていきましょう。

また、人が嫌だと感じることを決して言わない人、さりげない思いやりができる人を大切にしたいです。目立たないけれど毎日きちんと学習や仕事に取り組む姿勢は、その人の一生の財産になるはずです。その姿勢があなたをより高いレベルへと導いてくれると私は信じています。

最後に 3 年生にとっては大切な二学期となります。強い意志を持ち、ブレることなく前を向いて、進路決定に向けてチャレンジしてください。これでお話を終わります。